



2024年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月14日

上場会社名 株式会社アイリックコーポレーション 上場取引所 東
コード番号 7325 URL <https://www.irrc.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 勝本 竜二
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 相原 尚昭 TEL (03)5840-9551
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け決算説明動画配信予定）

(百万円未満切捨て)

1. 2024年6月期第2四半期の連結業績（2023年7月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第2四半期	3,577	23.8	203	47.6	206	43.9	110	47.5
2023年6月期第2四半期	2,888	13.8	137	△23.8	143	△23.8	74	△32.8

(注) 包括利益 2024年6月期第2四半期 111百万円 (47.5%) 2023年6月期第2四半期 74百万円 (△32.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年6月期第2四半期	13.19	-
2023年6月期第2四半期	8.61	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年6月期第2四半期	4,527	3,455	75.6
2023年6月期	4,498	3,614	79.7

(参考) 自己資本 2024年6月期第2四半期 3,423百万円 2023年6月期 3,586百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年6月期	-	0.00	-	15.00	15.00
2024年6月期	-	0.00	-	-	-
2024年6月期（予想）	-	-	-	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年6月期の連結業績予想（2023年7月1日～2024年6月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,524	25.3	371	97.8	377	94.0	151	845.1	18.34

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規1社（社名）株式会社ライフアシスト、除外1社（社名）－

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年6月期2Q	8,708,000株	2023年6月期	8,708,000株
② 期末自己株式数	2024年6月期2Q	449,467株	2023年6月期	246,667株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年6月期2Q	8,358,229株	2023年6月期2Q	8,681,003株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2023年7月1日から2023年12月31日まで)におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染状況に対する動きが徐々に緩和され、経済社会活動の正常化の動きがより加速し、需要回復の勢いが強まりました。しかしながらコロナ禍明け後の需要回復は、ほぼ一巡したと考えられ緩やかなペースで上回る伸びとなりました。一方で、世界的な金融引き締めや中国経済減速など、海外景気の下振れリスクが懸念される中、円安、物価上昇や人手不足などといった課題もあり景気の先行きに対する不透明感は大きくなってきております。

このような外部環境の下、当社は「人と保険の未来をつなぐ～Fintech Innovation～」という企業テーマを掲げ、保険分析・販売支援におけるプラットフォームとしての事業展開を推進しております。また、独自開発した『保険IQシステム®』、『ASシステム』、『AS-BOX』及び『スマートOCR®』を活用し、システムユーザーの更なる拡大を目指しております。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

・保険販売事業

直営店部門は、『保険クリニック®』のイメージキャラクターである向井理さんを前面に出したWeb広告やSNSなどを引き続き活用し、テレビCMの大規模ブランディングから顧客層をターゲット化したWeb広告でのブランディング力を高める施策を実施いたしました。アフィリエイト広告、Yahoo・Google・Facebookなどのディスプレイ広告やリスティング広告などをさらに強化いたしました。その結果、電話相談・オンライン相談の件数が増え予約数は増加し、既存店における新規来店件数は前年同期を8.7%上回りました。さらに既存顧客の再来店件数においては、前年同期50.1%上回り大幅に伸びました。また、第2四半期より株式会社ライフアシスト(以下LA社)がグループに加わり12月末の店舗数は直営店65店舗、LA社13店舗となりました。この結果、売上高は前年同期を上回りました。

法人営業部門は、前年度に新規大型契約があったことにより、当第2四半期の売上高は前年同期を下回りましたが、当初の計画通り推移いたしました。

この結果、同事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は2,119,577千円(前年同期比27.8%増)、セグメント利益は293,778千円(同129.6%増)となりました。

・ソリューション事業

FC部門は、12月末のFC店舗数が202店舗となりました。Web広告からの送客増加により増収いたしました。今後も、①新規リクルート活動の強化、②既存代理店への追加出店の提案、③店舗運営指導要員の派遣という施策を実施し、他業界からの新規参入企業への支援と取り組みを行ってまいります。

AS部門は、ASシリーズのユーザーID数が12,380IDと堅調に推移しました。地方銀行への導入は増加しており、銀行の導入数は39行となりました。また金融機関向けに販売を強化しているAI-OCRのOEM提供も好調に推移し、大幅な増収となりました。引き続き、大手保険会社や地方銀行・企業代理店向けのプロジェクトも複数継続しており、具体的な導入に向けての検討が進んでおります。

この結果、同事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は1,012,127千円(前年同期比21.1%増)、セグメント利益は223,980千円(同16.6%減)となりました。

・システム事業

子会社である株式会社インフォディオは、官公庁関連提供会社へのOEM提供、大手企業、金融機関やソリューション事業と連携した生命保険会社など、『スマートOCR®』関連の大型の新規受託開発が好調に推移し増収となりました。『スマートOCR®』に加え、電子帳簿保存法の改正に伴い電子帳簿保存クラウドサービス『DenHo®』については多くの問い合わせを頂いております。また、新サービスとして『brox®』の提供開始予定もあり、さらに今後の当社グループの業績を牽引することが期待できるサービスの一つです。一方で、営業力強化のため、人財確保などの先行投資が一時的に増加いたしました。

この結果、同事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は445,513千円(前年同期比13.0%増)、セグメント利益は4,496千円(同96.6%減)となりました。

(注) 『スマートOCR®』とは、AI(人工知能)を搭載し、ディープラーニング技術(深層学習、人間が自然に行うタスクをコンピュータに学習させる機械学習の手法の一つ)を活用した、非定型帳票対応の次世代型光学的文字認識システムです。

(注) 『DenHo®』とは、紙文書をスキャン、またはスマホで撮影しアップロードすると、AIが文書の文

字を認識・データ化して保存、文書内のキーワードで検索・閲覧できる電子帳簿保存法に対応したクラウドサービスです。

(注) 『b r o x®』とは、紙文書をAI-OCRでテキストデータ化し、PDFや画像データに加えExcel・Word・PowerPointなどのOffice系ドキュメントも横断的に全文検索ができるエンタープライズサーチです。

販売費及び一般管理費につきましては、人員増による人件費の増加、店舗数増に伴う支払手数料等の増加から、当第2四半期連結累計期間の販売費及び一般管理費は2,603,014千円（前年同期比13.1%増）となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高3,577,217千円（前年同期比23.8%増）、営業利益203,463千円（同47.6%増）、経常利益206,419千円（同43.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益110,247千円（同47.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は2,417,357千円となり、前連結会計年度末に比べ413,933千円減少いたしました。これは主に現金及び預金が420,253千円減少したことによるものであります。固定資産は2,109,876千円となり、前連結会計年度末に比べ442,303千円増加いたしました。これは主にのれんが378,895千円、ソフトウェア仮勘定が31,864千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、4,527,233千円となり、前連結会計年度末に比べ28,369千円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は989,476千円となり、前連結会計年度末に比べ126,751千円増加いたしました。これは主に未払費用が79,244千円増加、未払法人税等が47,038千円増加したことによるものであります。固定負債は82,546千円となり、前連結会計年度末に比べ60,631千円増加いたしました。これは主に長期借入金60,000千円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、1,072,022千円となり、前連結会計年度末に比べ187,383千円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は3,455,211千円となり、前連結会計年度末に比べ159,014千円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上及び配当金の支払いにより利益剰余金が16,672千円減少し、自己株式の買付けにより自己株式が145,761千円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は75.6%（前連結会計年度末は79.7%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2023年8月12日の「2023年6月期決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,600,833	1,180,580
売掛金及び契約資産	892,500	974,021
その他	391,685	267,658
貸倒引当金	△53,728	△4,903
流動資産合計	2,831,291	2,417,357
固定資産		
有形固定資産	219,858	246,150
無形固定資産		
のれん	56,883	435,779
ソフトウェア	517,731	515,142
ソフトウェア仮勘定	56,709	88,574
その他	41,304	32,521
無形固定資産合計	672,629	1,072,017
投資その他の資産		
投資有価証券	133,481	133,481
保証金	439,729	456,811
繰延税金資産	95,123	96,006
その他	106,749	153,807
貸倒引当金	-	△48,400
投資その他の資産合計	775,085	791,707
固定資産合計	1,667,573	2,109,876
資産合計	4,498,864	4,527,233

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	111,495	71,792
未払金	207,300	240,636
未払費用	75,183	154,428
未払法人税等	70,600	117,638
契約負債	243,164	218,291
株主優待引当金	10,061	3,551
賞与引当金	13,130	16,838
その他	131,788	166,298
流動負債合計	862,724	989,476
固定負債		
長期借入金	-	60,000
その他	21,915	22,546
固定負債合計	21,915	82,546
負債合計	884,639	1,072,022
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,354,780	1,354,780
資本剰余金	1,300,498	1,300,498
利益剰余金	1,119,895	1,103,223
自己株式	△189,009	△334,770
株主資本合計	3,586,165	3,423,731
非支配株主持分	28,059	31,479
純資産合計	3,614,225	3,455,211
負債純資産合計	4,498,864	4,527,233

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
売上高	2,888,637	3,577,217
売上原価	450,211	770,740
売上総利益	2,438,425	2,806,477
販売費及び一般管理費	2,300,574	2,603,014
営業利益	137,851	203,463
営業外収益		
受取利息	138	132
受取賃貸料	14,198	10,881
受取保険金	557	-
助成金収入	1,935	670
その他	445	1,362
営業外収益合計	17,275	13,046
営業外費用		
支払利息	-	204
賃貸収入原価	11,477	8,699
その他	207	1,186
営業外費用合計	11,685	10,090
経常利益	143,440	206,419
特別損失		
固定資産除却損	0	1,227
減損損失	-	3,463
特別損失合計	0	4,691
税金等調整前四半期純利益	143,440	201,727
法人税、住民税及び事業税	83,056	91,328
法人税等調整額	△14,382	△882
法人税等合計	68,674	90,445
四半期純利益	74,766	111,282
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	1,035
親会社株主に帰属する四半期純利益	74,766	110,247

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	74,766	111,282
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	74,766	111,282
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	74,766	110,247
非支配株主に係る四半期包括利益	—	1,035

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事実はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。